

平成22年度 決算報告書

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,202,342,000	1,170,924,000	△ 31,418,000	(注1)
自己収入	574,365,000	607,833,499	33,468,499	
授業料等収入	543,080,000	570,516,850	27,436,850	(注2)
雑収入	31,285,000	37,316,649	6,031,649	(注3)
受託研究等収入	48,321,000	21,957,868	△ 26,363,132	(注4)
補助金収入	45,000,000	18,875,028	△ 26,124,972	(注5)
計	1,870,028,000	1,819,590,395	△ 50,437,605	
支出				
業務費	1,462,709,000	1,546,535,924	83,826,924	
教育研究経費	259,941,000	354,309,144	94,368,144	(注6)
人件費	1,202,768,000	1,192,226,780	△ 10,541,220	(注7)
一般管理費	313,998,000	187,512,808	△ 126,485,192	(注8)
受託研究等経費	48,321,000	26,190,814	△ 22,130,186	(注9)
補助金事業費	45,000,000	18,875,028	△ 26,124,972	(注10)
計	1,870,028,000	1,779,114,574	△ 90,913,426	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金の差額の主な原因は、精算対象である法人固有職員退職手当について前年度の調整に伴い19,363千円減額となり、また精算対象外経費について、人事異動及び県人事委員会勧告等により9,040千円減額となったことによります。

(注2) 授業料等収入の差額の主な原因は、授業料収入及び入学検定料収入がそれぞれ5,733千円、3,455千円増額となり、また認定看護師教育課程及び看護管理者教育課程に係る受講料収入について受託研究等収入から授業料等収入へ15,020千円、学外実習費について雑収入から授業料等収入へ2,586千円組み替えした分です。

(注3) 雑収入の差額の主な原因は、職員宿舍貸付収入が3,132千円増額となり、また社会福祉研修事業受講料について受託研究等収入から雑収入へ2,939千円組み替えした分です。

(注4) 受託研究等収入の差額の主な原因は、寄付金について8,000千円減額となり、また認定看護師教育課程及び看護管理者教育課程に係る受講料収入について受託研究等収入から授業料等収入へ15,020千円、社会福祉研修事業受講料について受託研究等収入から雑収入へ2,939千円組み替えした分です。

(注5) 補助金収入の差額の原因は、戦略的大学連携支援事業に係る国庫補助金分です。

(注6) 教育研究経費の差額の主な原因は、従来、全額一般管理費に計上していた管理運営業務に関する費用について、費用の内容に応じて教育研究経費へ138,262千円組み替えし、また、認定看護師等研修事業費について受託研究等経費から教育研究経費へ14,824千円組み替えした分により増加した一方、教育経費、研究経費及び社会貢献経費がそれぞれ22,657千円、32,341千円、2,727千円減額となったことによります。

(注7) 人件費の差額の主な原因は、教員人件費が13,337千円減額となったことによります。

(注8) 一般管理費の差額の主な原因は、従来、全額一般管理費に計上していた管理運営業務に関する費用について、費用の内容に応じて教育研究経費へ138,262千円組み替えた分です。

(注9) 受託研究等経費の差額の主な原因は、寄付金事業費が5,850千円減額となり、また認定看護師等研修事業及び看護管理者研修事業等について受託研究等経費から教育研究経費へ14,824千円組み替えした分です。

(注10) 補助金事業費の差額の原因は、戦略的大学連携支援事業費に係る分です。